

市の人口と世帯	
※( )内はうち外国人	
2013(平成25)年1月末現在	
総人口	321,589 (2,235)
男女	155,155 (1,183)
	166,434 (1,052)
世帯数	140,283 (1,129)

住民基本台帳人口の内訳(外国人を除く)

発行●那覇市 編集●秘書広報課  
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号  
☎867-0111 ●印刷(株)近代美術  
●配布 那覇市シルバー人材センター

## 那覇市保健所 始動!

「頼れる保健所、フットワークの良い保健活動」をめざして

中核市移行に伴い、県からこれまでの中央保健所の建物を譲り受け、装いも新たに「那覇市保健所」として整備しました。

これまで県保健所が行ってきた公衆衛生業務と、市のやっている地域保健が一体となることで、幅広くきめ細やかなサービス提供が可能になります。今年度は、那覇市保健所としての第一歩を踏み出す年となりますが、みなさまの身近な視点から、より良い保健衛生環境を考え、「頼れる保健所、フットワークの良い保健活動」を展開していきます。

那覇市は4月1日に一般市から中核市へ移行し、まちづくりの新たなステージへ一歩を踏み出しました。

県から多くの事務権限が移譲され、今後はもっと身近なところで、地域の現状に合わせたサービスの提供ができるようになります。

中でも保健所の設置は、市民のみなさまにとって「中核市」をより身近に感じていただけるものではないでしょうか。

今後も、風格ある県都なはを目指し、より那覇市らしいまちづくりと、充実した市民サービスに向けて取り組んでいきます。

## 中核市ではじめの一歩

### イベントで若者の健康診断! その場で結果、保健指導まで☆

長寿第1位から転落し、今や若者の生活習慣病も深刻となっている現代の沖縄県で、若い世代からの生活習慣の改善はとて重要なものになっています。

これまで、市独自では継続実施できなかった若者の健診が、市保健所の設置により可能となりました。健診は、メタボや糖尿病予防のための簡易な健診(血糖、脂質、肝機能検査)ですが、保健所の医師、保健師、栄養士、検査技師といった人材を活用して無料で実施する予定です。保健所内で6月頃から週1回実施するほか、市内のイベントなどに出向いて行うことも可能です。

検査から保健指導までその日で行うことができるので、忙しい方でも利用しやすい内容となっています。

生活習慣病予防への大切な一歩となる健診を、より多くの市民に受診してもらえるよう取り組んでいきます。

### 健康都市をめざして

保健事業の展開のほか、環境基本計画や都市計画、防災計画など、市が策定する様々な計画の中にも保健衛生の視点を盛り込み、健康都市を目指していきます。



お問い合わせ 健康増進課 ☎853-7961

### 簡単手続き♪

これまで保健所で行っていた医療費助成、育成医療などの手続きでは、住民票や所得証明書などの提出が必要であり、市役所と保健所の両方に行かなければなりません。今後は、みなさまの住民情報を管理している市と一元化するため、これらの証明書類の提出が不要となります。

また、精神保健業務においても、市の障がい福祉課や健康推進課、県の保健所とこれまで窓口が分散していたのを、今後は那覇市保健所の相談窓口一本化されます。



那覇市保健所 所長 国吉秀樹

初代所長として那覇市保健所開設の第一歩を担えることを嬉しく思うとともに、身の引き締まる思いでいます。

過去に医師として保健所に勤務した経験と、昨年度まで県の健康増進課長を務めた行政の経験、ダブルの経験が健康なまちになるように職員一人ひとりが健康なま

方々の経験をいかし、那覇市保健所の運営に力を尽くしたいと考えています。

今後は、より市民の身近な場所で保健行政全般を行うことができ、これまでより強化された保健衛生環境を整えていくことができると思っています。

市全体が健康なま

**Q活動内容はどのようなのですか?**

「ごみを捨てることはもちろん花壇の手入れ、草取り、設備点検などを、自治会や地域住民のみならずと一緒に取り組みしています。

かつては清掃が行き届かず、荒地地同然でしたが、活動が定着して公園が少しずつきれいになると、ウォーキングを楽しむ方々や、飼育されているやぎを見にくる親子連れなど、子どもからお年寄りまで楽しめる地域の憩いの場となりました。

また、地域の保育園の子どもたちと一緒には、体験学習を目的に、大石公園の畑でひまわりやとうもろこしの種を植えたり、ジャガイモの収穫

### 自分たちの足元から

**Q今後の活動計画はありますか?**

大石公園入口近くには、識名1丁目自治会のみなさんと一緒に栽培したテッポウユリが咲いており、見ごろの4月13日、ユリ祭りを開催します。これから大石公園が地域に親しまれ、憩いの場となるよう活動を続けてまいります。

お問い合わせ  
沖縄ごみバスターズボランティア  
☎90-1941-1159



第25回は、沖縄ごみバスターズボランティア代表の上江洲澄子さんです。

**Q活動の目的はなんですか?**

わたしたち、沖縄ごみバスターズボランティアは、地域住民と一緒にごみを拾い、環境教育に取り組んでいます。市内には169の公園があり、私たちが主に識名にある大石公園の清掃活動を行っています。

大石公園の美化清掃をとおして、地域のみなさんとのつながりを深め、緑の環境を守り育てることを目的に活動しております。

また、小学校の子どもたちがグループを組んで、学校周辺のごみを拾い、その種類を記録するごみ回収体験学習も行っていきます。歩道や植え込みの根元などに投げ捨てられたお菓子の紙くずやたばこの吸殻などのごみを燃えるごみ、燃えないごみ、資源ごみなど二つ三つチェックしながら拾い集めています。なにげなく捨てたごみが、どのくらい不快感を与えるか、実感しながら、自分たちの足元から始めていくことで、環境を考えるきっかけになればと思っています。

協働さん いらっしゃい!

市民・事業者・行政が支え合う協働のまちづくりに取り組む団体、個人を紹介します。

第25回 沖縄ごみバスターズボランティア

お問い合わせ  
まちづくり協働推進課  
☎861-3846